

山形県 天童市

県のほぼ中央に位置し、古くから旧羽州街道の宿場町として発展しました。

山形盆地という土地柄から、年間を通して、フルーツの育成が盛んです。また、将棋駒の生産量は日本一を誇り、春になると満開の桜の下、甲冑姿の武将を駒に見立てた「人間将棋」が行われ、将棋のまちとして全国的に知られています。

〔人口〕 62,194人 (H27.10.1)

〔面積〕 113km²

〔ふるさと納税寄付額 (H29年度)〕

172,284件 2,899,459千円



「将棋駒の生産」

幕末に武士の内職として奨励されたのが始まり。今では国の「伝統的工芸品」の指定を受けています。



「人間将棋」

毎年4月の天童桜まつりの期間中、「人間将棋」が開催され、多くの観光客や将棋ファンが訪れます。



「フルーツの里」

初夏のさくらんぼに始まり、ぶどう、もも、りんご、ラ・フランスと年間通して旬の果物が楽しめます。



「天童温泉」

街の中心には県内有数の温泉旅館が立ち並びます。透き通った泉質は美肌効果も抜群です。

天童の優れた技術を広く発信する目的で、長年培われてきた伝統的な将棋駒の技術に、先進的なデザインやインテリア性を取り入れ、新たな飾り駒を開発。製作には、世界的工業デザイナー奥山清行氏が代表を務める「KEN OKUYAMA DESIGN」と、日本を代表する家具メーカー「天童木工」、唯一無二の駒職人 高橋稚山氏の技を結集しています。



優れた技術を結集した新しい飾り駒

将棋のまち、天童の
未来に向けた新たな一手



同時対局数世界記録への挑戦プロジェクト

市制施行60周年を記念し、将棋の同時対局数のギネス世界記録を目指して4,000人が同时对局を行う将棋イベント“二千局盤来”を10月に開催。4,724人(2,362局)で大幅な記録更新となりました。

このイベント開催費用は、ガバメントクラウドファンディングを活用し、趣旨に賛同いただいた全国の皆様からの寄附で開催しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

天童の将棋駒産業は、昭和55年の4億7千万円の出荷額をピークに、近年では低迷を続け、一時は3割弱まで出荷額が落ち込みましたが、ふるさと納税での「将棋駒ストラップ」などが人気となり、大きくV字回復しています。また、頂いた寄附金を活用して、将棋駒伝統工芸士育成講座の開催をはじめとした将棋の振興のほか、天童桜まつりや天童ラ・フランスマラソンといったイベント開催、特色のある地域づくりのための支援など、各種施策の推進に役立てられています。

応援しています！～寄付者の声～

- ・「3月のライオン」とのコラボで、将棋のまち天童市を知りました。藤井七段の活躍もあり、将棋に注目が集まる今、これからの盛り上がりも楽しみにしています。
- ・自然そして地域産業を守っていきましょう！

感謝しています！～住民の声～

- ・将棋ブームもあり、天童市への注目度が高まっていると感じます。
- ・私自身、農家をはじめ5年になりますが、確かに、ふるさと納税の恩恵を受けています。地域の活性化に貢献しています。